

ふらふら

2018

6

No.620



和牛入牧 (幾千世牧場)

今月の表紙

幾千世牧場和牛入牧

6月1日、幾千世牧場で和牛の入牧が行われました。

少し肌寒い気温の中、家畜車から下ろされた牛たちは耳標番号の確認後、牧場管理番号の取付と消



耳標番号の確認（右）と家畜車から降ろされた牛の様子（下）

毒を行い牧場へと放されました。

今年は例年よりも元気な牛が多く、牧場内を嬉しそうに駆け回っている姿が見られました。

牛たちは、分娩時期に合わせて入・退牧を行いながら、草を食べ、場内を歩き回り、退牧時には一回りも二回りも大きく成長して各生産者のもとへ帰って行きます。



第49回十勝ブラック&ホワイトシヨウ

5月12日、第49回十勝ブラック

アンドホワイトシヨウ（主催…十勝乳牛改良同志会連合会）が十勝農協連家畜共進会場（音更町）で行われ、町内活平の朝日昇司さんが2頭出陳しました。審査員は大樹町酪農家の角倉充彦氏が務め、各部門ごとに審査を行った結果、第3部出陳「サニーライズ ルツ



第49回 十勝ブラックアンドホワイトシヨウ成績

（出陳者名敬称略）

部	制	名 号	順位
第3部	未經産ジュニアクラス (12ヶ月以上15ヶ月未満)	サニーライズ ルツク アット エルサ	9位
第8部	ジュニア2歳クラス (30ヶ月未満)	サニーライズ ビーマース ファースト レベツカ ET	5位

クアット エルサ」が9位、第8部出陳「サニーライズ ビーマース ファースト レベツカ ET」が5位となりました。
なお、出陳牛の成績は左表の通りです。

酪農家女性 昼食会

5月24日、酪農家の女性を対象とした昼食会がカナリア喫茶（町内幸町）で開催され、13名が参加しました。

この昼食会は、経営者・共同参加者・後継者として多忙な女性の活躍を後押しできるよう、情報交換や息抜きの場として企画されました。

参加者は食事を楽しまつつ、意見交換や近況報告を行っており「もつと前からこのような食事を開いてほしかった」と言う声もあるほど盛り上がりました。



昼食会の様子

「SAMCOシステム」 試験運用行っ

5月10日、生産資材係はデントコーンのマルチ栽培「SAMCOシステム」の試験運用を町内の圃場で行いました。

このシステムは、通常のマルチよりもかなり薄く、弾力のある素材で出来、分解性のフィルムを圃場に被覆し、保温を行うことで初期成育だけでなく開花を早め、晩生の品種を付けして単位面積当たりの収量を向上、また寒冷地での登熟を安定させることが出来るシステムです。

「SAMCOシステム」を導入し、多収化と安定生産を目指すと同時に作業性の高さが期待されており、導入することで約20パーセント前後の増収が見込まれることから、期待が膨らみます。

試験の様子



第2回 理事会



5月22日、役員室において理事会を開催し、第43回通常総会招集通知書

などについて審議され、原案通り承認されました。

○報告事項

・情勢報告

・人事の発令について
・組合員の加入及び資格変更について

・固定資産の取得について

・平成30年度浦幌町小規模暗渠排水事業第1工区入札結果について

・平成29年度決算監査に係る監事監査報告について

・平成29年度年間経営定期点検実施報告書について

・コンプライアンス事故報告概要（29年度

第4四半期）について

・JA全国一般監査機構一般監査の実施について

・4月末生乳生産動向について

○議案

・組合員の持分譲渡について

・第43回通常総会招集通知書について

・平成29年度決算関係書類（計算書類等及び監査報告書）及び部門別損益計算書について

・固定資産の取得について

・全国酪農業協同組合連合会に係る「回転出資金の出資へ振り向け」について

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介し
ます。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピッ
クスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧
ください。

JA北海道中央会

本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJA
広報誌を中心に好評連載中の「続・今こそJA」
を、ご紹介します。

今年は、協同組合の原
点である「ロッチデール
原則」を再確認するほか、
JAグループが取り組む
自己改革のご紹介を通じ
て、協同組合の歴史と経
過を振り返る全12回の連
載としております。

組合員に限らず、JA広報誌を購読する地域の
皆さんにも、私たち協同組合の成り立ちや活動を
知ってもらい、共感して頂きたいと考えておりま
す。



JA北海道信連

JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振
興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン
春RUN！漫！」への協賛を行い、3年目となり
ます。

大会ではゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴ
をつけたランナーを応援するとともに、特設プー
スにちよリスも駆け付け、春の
ワクワクもらエルキャンペーン
のPRや、抽選による日本ハ
ム戦チケットプレゼント企画を
行つて大会を大いに盛り上げま
した。



ホクレン

ホクレンは3月14、15日に、
新たな販路開拓に向けて食品バ
イヤーを対象にした「第12回J
Aグループ国産農畜産物商談会
(東京国際フォーラム)に出展しました。

「北海道こめ油」や「てんさい糖」、乳製品など
を幅広く紹介したほか、ポトル形状やデザインを
リニューアルしたホクレンの顆粒片栗粉「とろり
んぱっ」を使ったから揚げや角煮の試食を提供し、
北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力
を伝えました。



JA共済連北海道

JA共済連では、今年もスタントマンによる交
通事故の再現により危険性を疑似体験（スケーア
ドストレイト技法）させる交通安全教室を、道内
8つの高等学校で開催しました。

体験した生徒からは「危険を再認識した」「ルー
ルを守り、気をつけていきたい」
などの感想が寄せられました。
このような活動で交通事故が
減り、安心して暮らせる地域づ
くりに貢献していきたいと考え
ています。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住
民の皆様の生命と健康を
守るため、本会事業の積
極的な啓蒙推進を図るこ
とを目的として、広報誌
「すまいる」を発行して
おります。

年3回発行しており、
様々な医療・健康情報を
発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載してお
りますので、是非ご一読ください。



J A 組合員の皆様

平成 30 年 6 月
NTT 東日本 - 北海道
北海道 東支店

NTT 設備事故防止のお願い

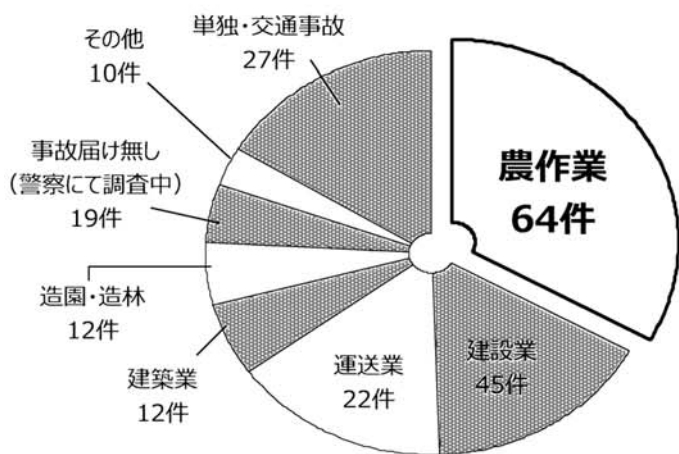
拝啓 時下皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、弊社の電気通信事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農作業時期を迎え、皆様の作業がお忙しくなるこの時期に、例年、農業機械や農作物運搬車両等による弊社設備の事故(特に、**畑への出入りの際に電柱折損・ケーブル切断が多発**)が増加しております。

万が一、事故を発生させた場合**多額の復旧費用を負担して頂くこと**となりますので、運搬車両の荷台の収納状態等を確実に確認していただき事故を起こさないようご協力をお願い致します。

敬具



【作業事故によるNTT設備事故の内訳(帯広)】

もし事故を起こしてしまったら・・・

- ・一般電話からは「局番なしの113番」へ
- ・携帯電話からは「0120-444-113」へ



<本件の問い合わせ先>

NTT東日本-北海道 北海道東支店 設備部 サービスセンタ
〒080-0803 帯広市東3条南12丁目2番地 NTT東ビル3F
Tel 0155-23-7964

~その意義と役割~

第6回 JAの信用事業

JA事業の核ともいわれる信用事業は、どのような理念で成り立っているのでしょうか？大辞泉によると信用とは「確かなものと信じて受け入れること」とありますが、この信用という言葉は事業を進める上で大きな意味を持っています。

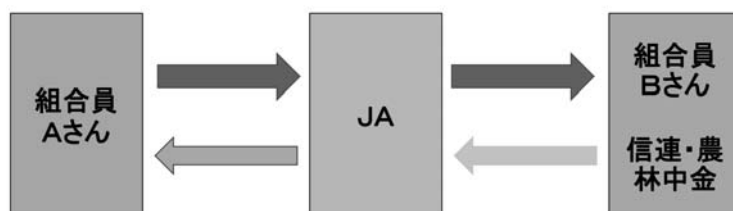
JAは預金を集めたり貸出を行うなど、広義での金融事業を行っていますが、一般の銀行とは異なる概念で事業を展開しています。まず、組合員が資金を貯金としてJAに預け、その貯金を原資としてJAが組合員に貸し出します。JAは組合員同士が必要な資金を相互利用することを仲介する形となり、このことを「相互金融」と呼んでいます。

また、北海道独自の仕組みとして「くみかん制度」があります。営農計画書に基づきながら生産資材や家計費の支出を行い、農産物を収穫した後、年度末に精算するという仕組みは対人信用を基本としたものとなっています。

JAの信用事業も一般の市中銀行と同様に政府の金融規制の枠組みにありますが、JAには他の金融機関にはない信用力を補完するためのセーフティネットの仕組みがあります。これは、全ての金融機関が加入している貯金者保護のための保険制度（元本1000万円とその利息を保護する公的な仕組み）の他に、中央会や信連がJAの信用事業を日頃よりチェックし、さらに全国のJAが資金を拠出してJAの信用事業の破綻を未然に防止するための基金を設けています。このようにJAの信用事業には二重の安心が設けられているのです。



<JAの信用事業の仕組み>



不定期
連載

今こそJA!

我が国では戦後間もない1948年（昭和23年）に農業協同組合が発足しました。戦前には産業組合、戦中には農業会とその形を変えながら、日本の農協はどのようにして出来たのでしょうか？以下、報徳生活読本Vからの引用になります。

戦前は「地主」と「小作農」による半封建的な農地所有制度が固定化していましたが、戦後、民主化政策の一環として、地主が所有していた多くの農地を国が強制的に買い上げ、これを小作農に安く売り渡す「農地改革」が断行されました。小作農が自作農になるのは画期的なことでしたが、彼らには経済的な基盤もなく、資金の蓄えもほとんどありませんでした。このままでは自作農が再び小作農へと転落してしまう恐れがあり、さらに飢餓にあえぐ国民の食料供給をどう果たしていくかが国家としての至上命題でもありました。こうした問題を解決するために農協が組織されたのです。

新たに誕生した農協は、組合員が資金を出し合ってお互いに融通し合い、生産資材や生活物資の共同購入や生産した農産物の共同販売を行う総合農協としての機能を最大限に発揮していきました。その結果、我が国の農業生産は飛躍的に拡大し、国民の食料供給に大きく貢献することになりました。

現在の日本農業は担い手の高齢化や後継者不足といった問題に直面しており、農協も組合員の減少や生産基盤の減少により組織や事業の見直しを迫られています。組合員と地域のために農協は現在も地道な活動を続けているのです。



第5回 日本の農協はなぜ出来たか？

新パズル(6月)

ヤ	ス	オ	カ	ゾ	ナ	セ	ア	ブ
リ	モ	ジ	ギ	テ	モ	ゴ	ズ	チ
グ	オ	ホ	ウ	ダ	ツ	シ	ミ	ズ
サ	カ	ミ	コ	ア	ニ	シ	ノ	タ
サ	ウ	イ	タ	ン	マ	チ	ハ	マ
ト	ケ	オ	ナ	マ	リ	ガ	ヘ	工
ウ	ン	オ	ラ	ユ	チ	イ	ノ	ノ
ガ	オ	タ	ウ	ク	ス	ヤ	ン	ヒ
ネ	ト	ン	マ	シ	テ	ツ	サ	マ

安曇野市(あづみのし)、宇検村(うけんそん)、邑南町(おおなんちょう)、小値賀町(おじかちょう)、小美玉市(おみたまし)、加須市(かぞし)、上小阿仁村(かみこあにむら)、御所市(ごせし)、坂祝町(さかほぎちょう)、篠栗町(ささぐりまち)、幸手市(さってし)、三戸町(さんのへまち)、酒々井町(しすいまち)、四万十市(しまんとし)、多良間村(たらまそん)、千曲市(ちくまし)、智頭町(ちずちょう)、知夫村(ちぶむら)、知立市(ちりゅうし)、東金市(とうがねし)、東御市(とうみし)、和水町(なごみまち)、野々市市(ののいちし)、八幡平市(はちまんたいし)、檜枝岐村(ひのえまたむら)、宝達志水町(ほうだつしみずちょう)、真岡市(もおかし)、茂木町(もてぎまち)、泰阜村(やすおかむら)、八街市(やちまたし)

□解き方 広島県の三次市のように、本州・四国・九州にも難読市町村名がたくさんあります(ちなみに「みよし・し」と読みます)。そこで今回は、北海道以外の難読市町村名を並べてみましたので、右のマス目から探してください。「市町村」は除きます。まっすぐであれば、縦横斜めなどの方向から読んでもかまいません。

その結果、最後まで使わないカナが何個か出てきます。その使わなかったカナを左上から並べてできる東北の市の名前を1つお答えください。

草	鐘	点	八	郎	濁	北	三	真
岡	一	角	獸	太	五	千	枚	田
紅	目	木	新	二	十	口	目	十
秋	散	八	一	姫	八	中	野	勇
千	一	丁	目	一	番	地	八	士
日	日	八	面	六	臂	一	居	九
一	拳	手	一	投	足	言	口	州
張	猪	丁	三	方	一	兩	損	開
羅	倫	八	頭	身	本	一	生	斗
敦	七	口	戒	星	日	十	百	二

□応募要領 同封のハガキに住所・氏名(組合員の場合は世帯主名もご記入ください)を書き、投函ください。

また、本・支所の貯金窓口へ投函箱を用意してありますのでご利用ください。

5月号のパズルへのご応募ありがとうございました。

14名中14名が正解でした。抽選の結果、次の5名の方に賞品をお送りいたします。

▽当選者名(敬称略)

芳川弥寿子(敏文(川上))
竹田 俊一(本人(相川))
部田 祐司(本人(美園))
的場 信博(本人(万年))
外崎 雄哉(本人(宝町))

□締め切り 6月25日(月)

□賞品 正解者の中から抽選で5名の方にエコープ商品券を差し上げます。

□発表 正解と当選者は本紙7月号に掲載します。



5月号の答は ANSWER

ホクトシチセイ(北斗七星)でした

今月の抽選者は、田中芹奈(畜産課)さんです。

肥料一斉推進のお知らせ

日頃、購買事業につきまして、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

肥料の一斉推進を下記日程にて実施致しますので、よろしくお願い申し上げます。

推進期間 6月4日(月)～6月14日(木)

J A 共済

"共済一斉推進にお伺いします"

日頃、共済事業につきまして、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

J A 共済では、今年も6月を『長期共済推進月間』と定め、内容説明・加入推進にお伺いいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

ちくさん情報



◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

◎ホクレン十勝家畜市場
・育成牛市場（5月2日）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	1	-	-	-	535,565

・乳牛市場（5月9日）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
種牛(ET除)	14	987,120	708,480	864,309	929,801
初妊牛(ET)	-	-	-	-	1,201,436
経産牛	-	-	-	-	575,111

・乳牛市場（5月24日）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
種牛(ET除)	4	916,920	777,600	828,330	896,223
初妊牛(ET)	1	1,102,680	1,102,680	1,102,680	1,141,881
経産牛	-	-	-	-	575,111

次回市場	乳牛	6月5日（農協順：10）
7月市場	育成牛	7月2日（農協順：19）
	乳牛	7月18日（農協順：19）

・肉牛市場（5月16日-17日）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	75	961,200	582,120	786,442	833,346
和牛素牛(雌)	53	988,200	529,200	678,790	722,276
繁殖雌牛	5	884,520	798,120	841,320	827,700
廃用牛	12	299,160	101,520	171,540	218,913
交雑牛(去勢)	19	484,920	410,400	450,872	482,930
交雑牛(雌)	61	444,960	324,000	383,276	399,337

次回市場	6月12・15日
	（農協順 黒毛：10・交雑牛：4）
7月市場	7月10・11日
	（農協順 黒毛：2・交雑牛：4）

◎ホクレン十勝枝肉市場（5月平均単価）

	(単位：kg/円)				
	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,400	2,194	1,979	1,750	2,210
	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2	平均単価
交雑牛	1,284	1,318			1,197

6月市場 9日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

6月開催日
1日・5日・8日・12日・15日・19日・22日・26日・29日
7月開催日
3日・6日・10日・13日・17日・20日・24日・27日・31日

◎畜産公社出荷日 6月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。
集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

へ血統登録とはく酪農経営の安定には改良が重要

酪農経営の安定を図るためには、「生産性の向上による生産コストの低減」が求められています。これには乳用牛の増頭やエサの多給によって生乳生産量を上げることよりも、遺伝的能力を効率的に発揮させることとによって、牛群の能力水準と斉性を高めていくということが重要です。

酪農家は、総合指数(NTP)や各形質の遺伝評価値を活用して、より優れた後継牛が期待できるような交配と選抜淘汰を行うことで、生産性の向上を図ることができます。

型形質では10〜30%程度と推定されます。現在では種雄牛の後代検定や牛群検定の実施によって、種雄牛や雌牛の遺伝評価値が発表され、そのレベルは年々向上しています。

◎浦幌町の乳牛頭数(搾乳農家)4月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
3,273頭	437頭	3,710頭	2,730頭	6,440頭

◎生乳生産量(4月出荷分)

実績乳量	前年実績対比	4月実績乳量	4月前年対比	経産牛1日1頭当乳量
2,930t	103.0%	2,930t	103.0%	29.2kg

◎生乳成分と乳代単価(4月)

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)		
			生乳単価	補給金単価	合計
平均					
全道	3.97	8.78	91.19	8.51	99.70
十勝	3.90	8.80	90.82	8.51	99.33
浦幌町	3.95	8.85	91.31	8.51	99.82

◎衛生的乳質検査結果(4月)

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3		
全道	15,884 (97.6)	381 (2.3)	8 (0.1)	13,004 (86.4)	5,462
十勝	3,466 (99.5)	15 (0.5)	0 (0.0)	2,899 (89.0)	1,166
浦幌町	139 (98.5)	2 (1.5)	0 (0.0)	105 (85.3)	47

上段は3旬計の件数・下段()は%



我が家の子宝



貴老路地区 森 虎之介^{とらのすけ}くん(7歳、中央後)
 颯乃辰^{そらのしん}くん(5歳、右)
 巳乃倅^{みのゆき}くん(4歳、左)
 信乃^{しの}ちゃん(4ヶ月、中央前)
 (森 彰人さん、菜摘さん夫妻のお子さん)

- **好きな食べ物は？**
 虎之助：果物
 颯乃辰：イクラ
 巳乃倅：手羽先
- **宝物、マイブームは？**
 虎之助：将棋
 颯乃辰：人形遊び
 巳乃倅：トラクター+ダンプあそび
 信乃：ビニールの音
- **チャームポイントは？**
 虎之助：顔
 颯乃辰：ボディ
 巳乃倅：ししゃも足
 信乃：まだ未知
- **家でのお子さんの様子は？**
 とても仲が良いです。
 妹の面倒を我先にと見てくれます。
- **成長を感じる場面**
 上の子が下のこの面倒を見、下の子が上の子の言うことを聞けるようになった時。
- **どんな子に育ててほしいですか？**
 良い事と悪い事との判断が出来る子になってもらいたい。元気で、何にでも積極的チャレンジしてほしいです。

6月のカレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事	項
1	第5回企画会議	
	和牛入牧	
4	平成31年度用肥料一斉推進	(~14日)
5	青年部子ども農業体験学習	
6	十勝ドリームフェア	(~7日)
7	第43回通常総会	
	第3回理事会	
	第2回監事会	
11	馬入牧	
13	第1回小麦係会議	
14	第3回十勝地区農協組合長会議①	
	十勝農協連第70回通常総会	
16	第3回十勝地区農協組合長会議②	
20	J A 共済一斉推進	(~22日)
21	十勝地区農協専務・常務会議	
22	第6回企画会議	
26	第4回理事会	
	役員&青年部との懇談会	
27	J A 全国中央会監査機構一般監査	(~29日)
29	農業委員会総会	

新 晴耕雨読

182

今回は、林俊雄著「興亡の世界史・第02巻 スキタイと匈奴 遊牧の文明」(講談社)を取り上げます。

この全集(全21巻)は、ネアンデルタール人などの滅亡した「ヒト」と現生人類の間の興亡から20世紀の米国を中心とした世界の興亡までが描かれています。

そのうち本書は、紀元前10世紀頃から紀元3、4世紀にかけて中央ユーラシアを中心に活動した遊牧民を扱っています。著者は、最新の各種文献資料や発掘による考古

学資料などをもとに、スキタイや匈奴など騎馬遊牧民の国家や産業、交易、文化伝播、大国・漢との関係を明らかにしていきます。4世紀、中央ユーラシアの騎馬遊牧民フン族(匈奴の末裔といわれます)の動きはゲルマン人の大移動の引き金となり、さらにはローマ帝国滅亡、モンゴル帝国建設へつながります。一方、東へ移動した騎馬遊牧民は日本へ渡り征服王朝をたてました。

日本へ渡ったという部分は、著名な東洋史学者・江上波夫が戦後発表された騎馬民族征服王朝説(残念ながら現在では否定的見解が主流です)によるもので、「騎馬民族国家」(中公新書)に詳しく述べられています。(り)

